

女性教員メンタープログラムとは

赴任間もない新任教員にとって、大学における活動に不安はつきものです。教員メンタープログラムは、大学において一定の職務経験をもつ教員と交流することで、新任教員が大学教員として成長していくことを支援するプログラムです。このプログラムでは、新任教員をメンティ教員、そのメンティ教員を支援する教員をメンター教員と呼びます。メンタープログラムは大学以外の組織でも広く導入されており、その効果は確認されています。

名古屋大学では、男女共同参画室と高等教育研究センターが協力して、女性教員メンタープログラムを実施しています。特に名古屋大学方式女性研究者採用加速・育成プログラム事業で採用された教員は、採用当初から2名以上のメンターが配置されます。

女性教員メンタープログラム

あなたのメンターを紹介します



メンタープログラムのねらい

メンタープログラムは、メンティ教員にとって以下のような効果が期待されます。

◎職務や生活に関して気軽に相談できる相手を得る

◎大学について理解を深める

◎教育研究など職務上必要な知識やスキルを獲得する

◎結婚、出産、育児、介護などのライフイベントと仕事の両立を相談できる

◎キャリアの展望を考えるきっかけになる

◎メンター教員を介してさまざまなネットワークを作る

メンタープログラムは、メンター教員にとっても意義があります。新任教員との交流によって新しいアイデアや活力が得られたり、自らの教育研究を振り返り今後のキャリアを考えるきっかけになります。

メンター活動の流れ

1 申し込み

名古屋大学に着任して3年未満の教員であれば、申し込みは随時可能です。申し込みの際に、日程上の都合、メンター活動への期待や希望などを記します。

2 マッチング

メンティ教員の希望やプロフィールをもとに適切なメンター教員を決定します。メンター教員より初回のミーティングに関する連絡が届きます。

3 初回のミーティング

メンター活動の目的、ミーティングの場所と頻度などの活動の計画を相互で確認します。

4 定期的な活動

ミーティングのみでなく、キャンパスツアー、授業見学などの活動も相互の合意の上で進められます。またプログラム事務局にはいつでも相談することができます。

5 フィードバック

メンター活動の成果をプログラム事務局に報告します。内容はプログラムの改善に利用されます。

名古屋大学に着任して3年未満の教員

メンター教員との交流を通して、大学教員として成長することが期待されます。

メンティ教員

メンター教員



相談・助言など



名古屋大学に5年以上勤務している教員

メンター活動をリードし、メンティ教員に対して理解者や支援者としての役割を担うことが期待されます。

メンティ教員の声

本プログラムを活用したメンティ教員から以下のような感想をいただいています。

任期付きという身分で、今後のキャリア形成に迷い悩んでいるとき、メンター教員の助言は大きな支えとなりました。信頼できるメンター教員との出会いによって、自分の可能性を心置きなく追求することができました。

いままでとちがう分野にとびこむことになったので、心強かったです。研究のことだけでなく、ちょっとした文化の違いについても相談することができました。

それまで授業を担当した経験がなかったため、メンター教員の授業を見学してもらいました。資料の作り方、映像の挟み方など、いろいろ刺激を受けました。

名大サロンや異分野の教員が集まる研究会などに連れて行ってもらい、メンター教員が5倍10倍に増えたような感じてました。知り合ったベテラン教員が同年代の教員を紹介してくださるので、あっという間に学内に知り合いが増えました。

申込方法

本プログラムを活用したいと考えている方は、電子メールの本文に下記の5項目を記して、申込先までお送りください。また、同性のメンター教員をご希望の場合は、その旨もお書きください。

1. 氏名

2. 所属

3. メールアドレス

4. メンター活動への期待や希望

5. 時間の取りやすい曜日や時間帯

申込先

女性教員メンタープログラム事務局(男女共同参画室)
kyodo-sankaku1@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

Q & A

どんな人がメンター教員になるのでしょうか？

本プログラムでは、次世代の育成に意欲のあるメンター教員が紹介されます。メンター教員は、ガイドラインにそって活動を行うので、個人の価値観を押し付けたり、活動で知りえた個人情報を口外するなどの心配はありません。万一、相性が合わない場合は、理由を告げずにいつでも終了することができ、望めば別のメンター教員が紹介されます。

どのようなことを相談できますか？

どのように授業するのか、どのように研究資金を獲得するのか、どのように大学教員としてキャリアを築いていくのか、どのように仕事と生活のバランスをとるのかなどが話されます。メンティ教員は、遠慮せずにメンター教員に悩みや質問を投げかけてみましょう。

活動の頻度はどの程度でしょうか？

初回のミーティングの相談により決定しますが、月に1回程度行われることが多いです。

相談相手は本プログラムのメンター教員のみでしょうか？

所属先の先輩教員は、メンティ教員の専門分野の内容やキャリア形成について詳しい貴重な同僚です。また個人的に学内に相談できる教員を増やしていくことは、新任教員にとって重要です。本プログラムは、そのような自然にできるつながりを代替するものではなく、補完するものです。

異性が少し苦手なので配慮してもらえますか？

申し込み時に、希望すれば同性のメンター教員が紹介されます。結婚、子育て、介護などと仕事の両立について相談するため、同性のメンター教員を希望する教員もいます。



名古屋大学 男女共同参画室

Office for Promotion of Gender Equality, Nagoya University

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話・ファックス: 052-789-5987

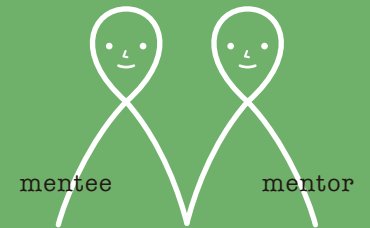
<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

kyodo-sankaku@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

女性教員のための

メンタープログラム

あなたのメンターを紹介します



mentee

mentor

名古屋大学 男女共同参画室